公民館報 こすど

所 須戸町小須戸公民館
行 人 矢部藤三郎
印刷 新潟県中蒲原郡
発 須戸町小須戸公民館

小須戸分館職員

小須戸分館では左の通り職員を決定

分館長 間清太郎
副分館長 渡辺平七
仝 小島正春
主事 高橋孝止

國勢調査

一日(午前零時)に料資基礎の復興

今晩零時を期して全国一斉に国勢調査が行われる。この度の国勢調査は全世界六十七ケ国の中四十七ケ国が参加して同じ方法で行われるので全く有史以来のことで、戦後国土資源を失つた日本復興が中心で方法も従来の世帯別、氏名生年月日住所等の基本調査の外新しく就業状態、教育、人口動態、出産力に関する事項等が加えられ、立体的な調査が行われる。国民は正しい申告の義務があり、虚偽の申告または拒否した場合は六ケ月以下の懲役又は五千円以下の罰金に処せられる。調査員は申告者の秘密を守りこれを他に洩した場合は同様罰せられる。

本調査は税金、供米、犯罪捜査等には利用されない

童心が描く純眞な叫び

三校児童が町長を囲む会

小須戸、新保、横水小学校の五六年生の児童が去る日小須戸校で村山町長を囲んで"町長にお話を聞くの会"を開いた。以下は町長、学童両者のいつわりのない純眞の叫びを録音したものである

町長さんのお話

"少年時代の私の希望"

昔の小須戸校は嘗い小さい学校で、ガラスの入つている戸など殆んどなく教室の数も少く運動場もこんな大きいものでなかつた。私ははじめ学者になろうと考えた、だがその頃は学問をするにはむずかしく中学校へ行くには新潟か三條へ行かなければならなかつた。それで学者になる事はあきらめて、陸軍大將になりたいと思つて幼年学校を受験したが、小須戸校のような設備の悪い学校で勉強した者にはそれもむずかしく、遂に失敗した。私は少年時代に味わつたこの苦しみを次ぎの時代の子供達……皆さんに再び味わせたくないと思つて、学校の設備やその他皆さんが勉強されるに不便のないように努力している。

"町長としての私の考え"

私は町長として小須戸町を明るく住よい町としたいと、それで次のような事を考えている

(1)道路をアスファルトにすることを計画している。

(2)交通事故を防止するために、横町角の"ガンギ"を丸くする

(3)下水は常にきれいな水を流したい。

(4)学校から鵜出古木にかけての土手を平にして自動車が通れるようにしたい。

(5)塵芥の処理場、塵芥集めの人をつくりたい。

そしてこの町を繁栄するやうにしたい。更に縣会議員、新津郷耕地整理組合長としてのいろ〳〵のお考えを話された。

これに対して子供達は何を考え何を思つていたのであろうか、次ぎはそのいつわらぬ純眞な叫びである。

「町長への注文」

(1)各学校へ図書館を作つて下さい

(2)各学級にスピーカーをとり付けて下さい

(3)町に塵芥の捨て場がないので私達の大事の遊び場所であるグラウンドがゴミ捨て場にされている。一日も早く塵芥処理場と塵芥集めの人をつくつて下さい。

(4)横水校のグラウンドを拡げて下さい

(5)毎年夏になると水泳中に死ぬ者があるから、プールを作つて下さいと切実な叫びをあげ、なお将来の希望として"科学者""医師""実業家"といろ〳〵の希望をのべ、最後に今日の感想を交々語つた。

"感想"

(1)私達は町長さんの"自分で苦んだ事を私達に味わせたくない"というお言葉に感激しました。昨年学校の土台替え、嘗い教室を明るくして下さつたり、こわれたガラスを全部入れかえて下さつたのはこのお心からだと思い、明るくなつた教室や運動場をもう一度見なおした。

(2)自分の希望を果すためにしつかり勉強するようにと励ましの言葉をいただいて、しつかり勉強する覚悟だ。

(3)私達のお願いした事を近い中にまた私達が大きくなるまでに必ず作つて下さると約束されたのでその日が待ちどおしい。

(4)生きた町長さんのこのお話をいつまでも忘れないで、大志をいだいて立派な者になる事を決心した。

町長さんほんとうにありがとう。

なお村山町長は体育奨励と児童との約束の一端を果すため、私財七万余円を投じて野球用具一式を各学校に一組ずつ寄贈された。

町と スポーツ

一町民(紙上匿名)

最近スポーツ熱が盛んになつてホントウにいいことと思う。体育はいうまでもないが戦後の青少年に一つの拠り処を與え、混迷から明朗へと精神方面にも実に良い教訓を投げ與えている。

八月行われた中蒲原郡青年体育大会をふりかえつて、私はここに、縣体育大会の誘致を提唱するのである。町名高揚されるのはいうまでもないが、一面経済方面においても決して損の行くような大会ではないと思う。先般の郡大会においても町経費は約八万五千円位つかつたと聞いている、だが收入の面においてはどうであろうか、当日の人出は約三万といわれているが内輪に見ても二万人は確かだと思う今かりにその二万人の人造が平均五十円ずつ飲食その他で費つたとしたらそれは優に百万円のお金になる、かりに話半分としても五十万円の金は間違いなく小須戸町の收入になつているのだ、グランドの建設費大会費で二十五万円かかつとしても差引二十五万円が町利益になつているしかもグランド建設費にしろ大会費にしろ全部町へ落ちた金で町外へはいくらも出ていない筈だ。造られた施設は全部町の設備となり財産となつて殘つている、丸丸消耗したものはいくらもない、それで小須戸町の認識を郡内三十ケ町村に一層高めた價値は到底金銭に購い難い大きな收穫であつたと思う、縣大会誘致では更に大きな町廣告となるのではあるまいか経費の点も公認グランドとしてグランドの整備費二十万円、大会費十万円を見て、收入面では宿泊費飲食費等恐らく百万円を越すものと予想出来る。

このような金銭勘定ばかりではない、前述のように小須戸町の町名を縣下に高揚する絶好の機会なのだ、これは造とても百万円や二百万円の廣告費では到底出來ない大きい收穫がある、ホントウに一石二鳥の大きいれらいであろう、これは成るべく早い方がよいと思う新津や村松で四百米グランドが出來れば誘致にも相当の困難もあり、運が悪いと永久に出來ないような破目になる恐れもある、全町一致で小須戸町高揚に努力しようではないか。

簡易保険の新しい制度

不慮の災害には二倍給付

昨年から新しい規則で、昭和二十一年十月以降に入つた契約で不慮の災害で亡くなつた方には契約保険金の二倍を前支拂することになつた。

既に長野郵政局管内(長野縣、新潟縣)では十数件の倍額支拂の適用を見ているが小須戸郵便局管内でも毎年三、四名の不慮死があることは御承知の通りである。

この制度では先般おきた小千谷の電工事の災害における犠牲者の方などは当然倍額支拂の適用を受けることになり、また子供が遊戯中自動車や電車等に轢殺された場合、溺死等の思いがけない事故には全部適用される。

但し契約から滿三年を経過しないと適用されないまた今までは六十才までしか入れなかつた簡易保険が、六十五才まで入れるようになつた。保険料も割引率が非常に良くなり、これまでも六ケ月分以上前納には割引されていたが、今度から更に割引率を次のように引上げたから精々利用されたい

六ケ月分以上半月分割引

【前納】
一年分〃 一ケ月分〃
二年分〃 二ケ月分〃
三年分〃 三ケ月分〃
四年分〃 五ケ月分〃
六年分〃 八ケ月分〃
以下略

未亡人会生まる

昨年來胎動していた本町未亡人会の結成は愈々実現することになり、去る十八日発起人十数名が役場に会同し母子世帯を中核とした未亡人家庭の福祉対策について協議十月下旬結成総会を開催する

画と文 森一義

一番乘り

完納 野崎留次氏
供出 渡邊直次郎氏

植付後間もなく猛烈な稻熱病に襲われ、收穫も半減かとあやぶまれたが、全部落が一致協力して七十六万円という莫大の防除費をついやし必死の努力が効を奏し、その後も割合に順調な天候に恵まれたとはいえ、約二割五分の三千五百石位の被害に喰い止め、未曾有の悪條件をよく克服してみのりの秋を謳歌し、刈入も天候に恵まれて幾分早目に鎌入が始まり、大減收にもかかわらず、農家皆さんの供出意欲は旺盛をきわめ、責任感の重大さを物語るが如く、九月十一日水田部落の渡辺直次郎氏の一俵を供出一番乘りとして、廿一日に早くも小向部落の野崎留次氏が十六俵二斗をもつて完納一番乘りの勝名乘りをあげた。

廿二日現在で二百十二俵供出という輝かしい成績を示したが引続いて続々と供出されている。

恩給受給權の調査

普通恩給、増加恩給

△普通恩給を受ける方は(調査票に戸籍抄本を)

△増加恩給、傷病年金を受ける方は(戸籍抄本と生計関係申立書を添えて)

支給郵便局の窓口へお出し下さい。

期間内に書類を提出しないと恩給の支給が受けられないことがありますから注意して下さい。詳細は郵便局で聞いて下さい

牛馬耕の講習會

小須戸農協では耕地整理の完成と共に水田の裏作に主力を注ぎ、九月廿日横水校で縣種畜場横大路技師、畜力利用教師伊藤甚太郎両氏を招き、牛馬耕による水田裏作ウネ立ての講習会を開催、多数の参加者があつて大きな成果を收めた。

勇躍入隊した。

山崎武夫(龍玄)須藤三郎(水田)揉徳松(小須戸)佐藤忠司(鎌倉)小柳寧五郎(小須戸)佐藤武夫(鎌倉)砂井松二(小須戸)渡保政義(小須戸)吉田徳一(横川)川瀬信二(新保)の諸君

公民館誌より

◇八月三十日
公民館指導者講習会
矢部編集長講師として出席(大慰)

◇九月二日
藝能部、共同募金委員合同会議
今後の募金運動展開について並にすわらじ劇団上演について決定

◇九月三日
映画鑑賞座談会

◇九月四日
町民運動会打合会

◇九月五、六日
CIE映画上映

◇九月七日
映画鑑賞会総会

◇九月十日
読書会

◇九月十五日
•第三回町民運動会
•郡公民館研究会(亀田)
問野主事出席
•演劇座談会

◇九月十六日夜
共同募金すわらじ劇団上演

◇九月二十日
牛馬耕講習会

◇九月二十二•二三日
各小学校運動会

◇九月二十六日
•運営審議会
町制施行六十週年記念行事並に文化祭開催について

◇九月三十日
読書会

•駅の本を数人が汚したり無くしたりしても、必ずそれ以上の人が有意義に使つている筈だ。こうして一人々々が向上する道程なので、悪い事をお互に反省し合い常に動きつゝより良き社会の実現に努めるのが公民館運動と思う。個人が完成されてからの公民館運動は大した意義がなくなるのではあるまいか。

合唱團の發表会

小須戸町合唱團では十月下旬に共同募金運動と文化祭の一環として第三回発表会を行うべく、これ迄とは違つたさん新奇抜な企画立案により目下着々と準備中であるが、これが成功すれば町内の他文化團体にも相当の刺激を与える事になろうと各方面より待望されている

校歌募集

1等 3,000円
佳作 10名 300円

縣下に誇る中学校に校歌がないのは非常に淋しいとの生徒はじめ一般の声もあり、いよ〳〵その氣運も熟して、この度校歌を町民全般から懸賞募集する運びに至つた。

尚詳細は近く公示されるはずである。

植樹に協力を

前々から着々と実施されていた中学校線化運動も四百米大グランド建設成つて、いよ〳〵本腰を入れてこれに当たることゝなり、この度大々的に寄付を願うことゝなつた。

木の大小高低を問わず、一本でも二本でも又來年になつても……。と出來るだけ廣く、多くの町民の協力を望んでいる。尚寄付者は中学校内植樹実行委員会へお申し込み下さい。

警察予備隊合格

募集が開始されるや率先志願、左の十一君は優秀な成績をもつて見事に合格今般それぞれの任地へ

さなぎ

だんだん良くなる

「すわらじ劇團の人たちは、舞台の幕布がけまでして芝居をやるがんだつてれ、おらもあんまり紙くず散らかされようにしろいれ」とは、去日のすわらじ開幕前、隣りのおかかの話である。以前は学校で何か催しものの終つた時など運動場の中から下駄を履いて帰つた者がどの位あつた事か?然しそれは何時とはなしになくなつて、後の紙くずも少い。

小さい事からだんだんよくなつて行くのが解る様だ。みんな一度には決してよくなれない。昨日「新潟日報」で、駅の待合室で本を置く様な事より公民精神を養う根本を忘れるなと載つていたが、

赤い羽の中間報告

五月以來町民運動として活潑に展開されて來た共同募金も、各種團体の積極的な協力によつてぐんぐん上昇し既に割当額の過半に達した。明細は次の通りであるが尚今後の運営に対しても全町民の一段の御協力をお願いする

○募金興行
九月十六日すわらじ劇團 四五、一二二円
○街頭募金
五月八九日商工祭以來 計一五、八一六円
○合計 六〇、八三八円

附錄配付

改正になつた汽車時間表の寄贈があつたから附錄として差上げます

三馬のゴム靴と
蘇倉の雨具を取り揃えました
ゴム靴と雨具は是非当店へ
シート
日除
夕田中雨具店
三番町 電話七番

第三回町民運動会

優勝杯東町へ

――七十二才の老婆も交り

今にも泣き出しそうな天候もカラリと晴れあがり待ちに待たれた町民運動会は体協、公民館共催の下に九月十五日町裏グランドで盛大に開催された。

医師会、歯科医師会寄贈の大カップ、各商店寄贈の盛り沢山の賞品に人氣が高まり、集つた老若男女約三千人、男女選手権競技、学、生徒の遊戯の外、一般参加の綱引競走やら支度競走、さては借用競走やら自轉車おそ乘り競走等爆笑に次ぐ爆笑で終始和やかな気分の中に午後五時予定のプログラムを終了した。尚呼びもの、部落町内対抗継走は東町が優勝、誉れのカップを獲得した。

主なる入賞者は次の通り

◇選手権競技一等

六〇米（女）浅田　トシ
一五〇米（男青）野崎　松治
（〃壮）梅津英五郎
八〇〇米（男青）高山与四男
砲丸投（男青）大森　守夫
（〃壮）五十嵐重雄
走巾跳（男青）大森　守夫
（〃壮）佐藤　義弘
走高跳（男青）大森　守夫
（〃壮）傳田　大六

◇職場対抗八〇〇米継走

A組一着　医師会
B組〃　加留工場
C組〃　商工金融所

◇部落町内対抗継走

一着　東町
二〃　鶏出古木
三〃　新町
四〃　新保
五着　五ノ町

御　亂

町民運動会に当り各種賞品の御寄贈を頂いた医師會、歯科医師会をはじめ各商店六九軒に対し深く御亂电上ます

写眞は一スナップ

一萬人給水目指して

水道改修着工

二百二十五萬圓で金山組が

一万人給水を目指して着工、水道機工、縣内巻水々準備を進めていた小須戸町上水道改修大工事は九月八日、設計者川崎水道課長久村技師の現地について懇切な説明会があり、こえて十二日村山町長、水道委員立会の上入札を執行した、

巣まる業者は東京昭和水道、花原製作所、内外商工、水道機工、縣内巻水元業者を加えて実に十九名の多きに達し、開札の結果、留札二百二十二万六百五十円に対し、二百二十五万円で地元金山組に落札した。

いよいよ廿九日現地で地鎮祭を執行、即日着工したが期限は七十五日で、最終十二月十五日をもつて工事終了の予定であるが、一倍大きな手が汗びしょになり牛車にのせて来たたくさんの土俵が供米の時のように校庭に積重れられました……。それはPTAの方方が相談して本年中に拡げようと青年團の方方の協力を仰いでお宮様の池を埋められる仕事の最中なのです。水運の下を泳いでいた鯉や鮒は大抵救つたが小鮒やえびがには逃げ遅れて土の下になつたかも知れません。ホントにかわいそうでした。でも神主さんのお祓いで安心して私達の為に死んだかも知れません。

先日大体出来上りましたので土踏みをしました。みんなが嬉しさの余り跳んでふみしめました。

かれがなつて運動場へ入りましたがよういに静かになりません。皆うれしさで一杯なのです。校長先生もニコ〳〵して「お はよう、廣い運動場になつたのは村や町の方方の熱と愛と青年團や部落の方方の汗の賜なのです丈夫な体を作つてこの御恩返しをしましょうね」と言われました。私は町長さんはうそを言われなかつた偉い人だと思いました。

いよ〳〵明日はグランド開きを兼ねた運動会です私は「よいお天気になつてくれ」と照る照る坊主においのりしました。

新保六年　TK

私たちの運動場

廣い小須戸の運動場で町長さんと話し合つた時でした。町長さんが「なんでもよいから学校でほしいものを言いなさい」と申されましたら横水の生徒が「私達の運動場が狭いから大きくして下さい」と言いました。町長さんはニコ〳〵して「あゝそうだね、新保と両方狭いのだからそのうちに大きくしましょう」と答えられました。私はほんとうに嬉しかつたが、いつまでたつても文心配

中等野球

縣中等野球下越地区予選の大会は十五、六両日にわたり新発田市営グランドで行われたが、第一回戦で優勝候補五泉中学とぶつかり、四対三で快勝したが、次回莫録との対戦では連続の戦いに疲れを生じ、遂に2対0で惜しくも敗れた。特にこの度の田場に際してはマーク入ユニフォーム十二着を寄贈され、選手、学校共大いに感激した。

ユニフォーム十二着
村山九之助
村山貞次郎両氏から
帽子　十二箇
早川酒店森田染物店
から寄贈があつた

高校開校記念行事

新津高校小須戸分校では開校二週年記念日を迎え去る十日午前[illegible]時半より町長はじめ来賓多数臨席の下、盛大な記念式典を行い、終つて来賓PTA隣接町村の高・中学校生徒を加えて大運動会を開催、尚屋内には展覧会場を設け、絵画、書、工藝品に写眞等、多数の参考出品も生花の間に並べられて、開校後、日未だ浅いながらも今後が充分に嘱目される。

中學校運動會

中学校では来る十月九日重陽の節句を下して生徒会、PTAの共催で目新しい種目を多数盛つた大運動会を催すが、いつもながらの張り切り方からしてどのようなものが生み出されるのか大いに期待される。

蠅取り週間

横水小学校では、赤痢病傳染の直接原因である蠅を撲滅しましょうと、十三日から一週間蠅取りを実施した。

ちりもつもれば山となるで、一週間で、七三、一二九四を撲滅

成績次の通り

一等六年中野　トミ　四〇三
二〃一年中野キミ子　四九三七
三〃四年白井　稔　四〇四
四〃六年木村　いつ子　三二〇
五〃六年野崎ヒロ子　二六七五

第五回 文化祭を

町制施行六十週年記念祭

全町を挙げての大行事文化祭も第五回を迎え、特に本年は町制施行六十週年を記念して盛大に挙行するべく計画が進められている。具体的な計画は近く専門委員会で決定発表されるが主なものと して次の様なものが考えられている。

- 中蒲原郡農産物大品評会
- 学童生徒作品展覧会
- 全郡余技作品展覧会
- 全町功労者の表彰
- 大旗行列、提灯行列
- 商工物産展覧会並に即賣会

町民各位も今から出品の御準備を御願いしたい。

郵便事故に監察制

郵第一〇一號システム

郵便はすべての人の利益のために運営される業務で、皆さんの郵便が最も迅速に処理され間違いなく取り扱われることを期待する権利がある、その目的を達成するために郵政省では万全の努力をしている事が出来る（但し普通郵便物には損害賠償はない）。

郵政省では犯罪を一掃するために郵政監察局を設け、多数の監察官を動員して、常に防犯、事故防止につとめ、万一犯罪や事故発生に対しては迅速的確な処理に全力をあげている。これが郵第一〇一号システムの組織である。

この制度は米国では相当早くから実施されていたもので、我国では一昨年やつと実施の運びになつたもので、この取扱者にも厳重な規則があつて、平素郵便物の引受区分等直接郵便物の取扱に従事しない信頼のおける局員に限られ、事務に精通し懇切丁寧に取扱うことをモットーとしている、だから安心して事故の場合は遠慮なしに申出でられたい。

金募同共

のど自慢コンクール

○十月九日　夜七時より
○会　場　小須戸小学校
○特別出演　高橋藤江嬢（新潟）予定
○伴奏審査　新潟放送局
○賞　金　一等二千円以下十等迄
○出演申込　十月五日まで公民館へ
出演料四〇円を添えて
○入　場　料　大人三〇円小人二〇円
共催公民館、共募委員会

早く安くをモットーに

待望の急行貨物便

十月一日から青森発東京行、急行貨物列車が矢代田駅に停車する。

矢代田駅を当日に積まれた荷物は翌朝秋葉原駅（東京）に到着、その日の中に配達される。運賃もいたつて安く、果物鶏卵野菜等に利用價値が大きい。

矢代田駅十一時発は急行料金は不要で、取扱い地域は東京都内の外埼玉、千葉、神奈川縣の一部も含まれている。

十月秋の豪華番組

新盛館

第一週
一日サザエさん（松竹）
二日想出のボレロ（〃）
五日マンガ大会（松竹）
八日お富与三郎（〃）
九日天晴れ一心太助（東宝）

第二週
夢は儚かなく（東宝）
醜闘（スキャンダル）（〃）
唄祭百万両（〃）
淑女と風船（〃）
世界の話題（〃）

第三週
いつの日君帰る（新東宝）
お富と与三郎後篇（新東宝）
母（佛画）
ウインナー物語（大映）
小判鮫大会（米画）
春の珍事（米画）
死の谷（新東宝）

第四週
泣くな小鳩よ（東宝）
瞼の母（〃）
右門江戸姿（松竹）
母（東宝）
小原庄助さん（東宝）
最後の戦斗機（佛画）
黒馬の闘七（東宝）
拳銃の前に立つ母（東宝）

第五週
ペコちやんとデン助大映（大映）
復活（新東宝）
山のかなたに（新東宝）
龍眼島の神秘（新東宝）

俳句

前號訂正

◇稲熟病「四万五千石」の減收は「三千五百石」

◇なぎさのサンマータイム「この十八日から…」は「この十日から…」の誤り

部屋廣う灯して敏弱に別れけり　良遊
輕き風邪おして加はる子規忌哉　灯秋
枝豆や夕餉の卓をそのままに　石流
湯沸しに又水足して居る夜長　盧水
霧の上又霧覆へり稲を刈る　灯流
糸瓜の忌今年は柿の実り好く　香月
へちまぞ井戸水ほのと温くき朝　鬱風
虫時雨早き夕餉の戸をとざす　芳人
コスモスに残り少なき日を折りぬ　流水
牧豆の赤きが秋をさびしうす　いさを
裏の虫表の虫と遊う虫

風土記

住吉神社

柏大治

毎年八月二十五日から二十七日の諏訪神社の大祭には、御神輿が新局舎の前に奉祭されますが何故でしょうか。

新局舎、役場と機物同業組合の建物の処が住吉神社の旧社地なので諏訪様が年に一度顔出しをなさるのです。

住吉神社は延宝七年に創立されました。御神体は伊邪那岐尊の御子表筒男命、中筒男命、底筒男命の兄弟神三社をお祭りしてあるのです。

これらの神々は航海を司る神様です。小須戸は昔から信濃川の中央水駅の地として繁昌致しましたので信濃川の舟に従事する人達の無事安全繁昌を願うために町の船頭さん達が主になつて住吉神社を建てられたとも又一説には村人共同商業繁栄祈念のためともいわれています。

住吉神社も何回となく火事に逢つていますが、慶応四年八月二十九日会津の乱暴人トンボ組三十六人が当時の富豪吉田甲平次氏に軍用金を要求しましたが出しませんので町の処々に放火しました。それは会津兵火といつて町の大半（二百十五軒本屋借屋共）が焼けました。その際住吉神社も焼けましたが、だれもの ぼせて住吉神社の御神体を救いだすことを忘れていました。処が早くもかけつけた高橋金十郎、石井浪次郎の両氏は住吉様の一大事とばかりすでに焼けつつある猛火の中に飛びこみ御神体をお救い致し一時高橋金十郎氏の稲荷堂に安置いたしました。住吉様よりお前達は命の恩人だと大変感謝されました。その後住吉神社は明治六年に再建され社殿は間口三間四尺奥行三間五尺立派なお宮ができました。当時の社掌は覚路津新田の湯田長平氏で信徒は六百九拾人を数え信徒総代は中村伊三郎、田巻一郎兵衛、加藤藤八の諸氏でありました。

しかし不運のことに此のお宮も明治三十四年六月一日の小須戸大火で再び焼けてしまいました。此の時も真先きにかけつけ単身御神体を救いだしたのが高橋金十郎氏であります。そうして鶏出古木の仁兵衛さんの宅へ安置いたしました。

一度ならず二度までも救われた住吉様は高橋氏に非常に感激しました。何かわれに希望はないかといわれました。その当時はお祭りになつても五番町と鶏出古木の境に御輿が奉祭されなかつたのです。今の新局舎の前にかぎられていました。

そのためにお祭りになつても上町だけは非常に賑かな人出でありましたが下町は人出も少なくひつそりしているので下町の人達はなんとかして下町にも御神輿を奉祭したいと云う希望を持つていましたので此の旨を高橋氏は申し上げたのです。

お前の恩義にむくいるにそんなことはたやすいことだとすぐに御承諾になりました。以来大祭には毎年下町に住吉様が出張される様になつたのです。

そして今でも東藏小路へ移住された高橋孝止氏の処へ御辞退したにもかかわらず大祭のときには必ず御神輿が御立寄りする慣例となつているのは、古恩を忘れない神と人間高橋氏の結んだ美談として傳えられています。

その後住吉神社は明治四十五年五月二十一日神明宮と共に諏訪神社へ合併されました。宮地跡には「れんでんの祭文語り」や、田舎廻りの手品師、武夫と浪子の生き別れの虫時雨早き夕餉の戸をとざす　からくり等の旅芸人の集まり場所となりましたが今は昔語りとなり当時のなごりとして住吉小路の地名だけになりました。

物價は下らず
買うは今
医薬品 化粧品 雑貨
藤井薬店
郵便局前 電205

食料品
電気器具化粧品
浜屋
二番町 電112

ベアリング式
ヒドリ号丸米号
自轉車
坂井輪店
新保 電170

茶
化粧品文具
きむら
四番町 電45

電気工事
モーター修理
巴電機商会
事務所屋井方電6
取次店森田染物店

肉
牛 豚
たまき肉店
神明町 電2